

YVES MERSCH

LONDON
SPEAKER
BUREAU

- Member of the Executive Board of the European Central Bank (2012-2020)
- Governor of the Central Bank of Luxembourg (1998-2012)



イヴ・メルシュは通貨同盟の先駆者です。ECB創設以来、ひいてはユーロ導入以来、同氏はECB理事会で金利の決定に長年携わってきた。ルクセンブルクの弁護士であり銀行経営者でもある同氏は、安定志向の金融政策を支持している。イヴ・メルシュ (*1949) は、最初に国際公法、次に政治学の大学院学位を取得した後、パリ南大学で教職に就きました。この間、彼はルクセンブルクの弁護士として認められました。

イヴ・メルシュは、1975年にルクセンブルク大蔵省でキャリアをスタートしました。1976年にワシントンの国際通貨基金(IMF)に出向し、1980年にニューヨークの国連ルクセンブルク常任代表に加わりました。1981年にルクセンブルクに赴任し、財務省に勤務。1985年から1989年まで、彼はルクセンブルク株式市場の監督を担当する政府委員を務めました。

Topics

- Economics
- Finance
- Politics

1983年から1999年まで、ルクセンブルクの銀行監督機関であるルクセンブルク金融研究所の評議会のメンバーを務めました。メルシュ氏は財務大臣の個人代表としてマーストリヒト条約の策定に貢献しました。彼は、IMF、世界銀行グループ、欧州復興開発銀行(EBRD)、欧州投資銀行(EIB)などの国際機関のガバナンスにおいて、また銀行、保険、金融の分野における民間企業のガバナンスにおいて自国の代表を務めました。通信と衛星。1998年から2012年まで、イヴ・メルシュはルクセンブルク中央銀行(BCL)の初代総裁を務めました。

2011年に金融安定理事会の欧州地域協議グループの共同議長に選出されました。2012年から2020年まで、彼は欧州中央銀行(ECB)の理事会のメンバーを務めました。同氏は1998年のECB創設以来、理事会と理事会のメンバーを務め、理事会のメンバーとしては最長在任期間を務めた。

イヴ・メルシュ氏がルクセンブルク大学の名誉教授に任命された。2015年の時点で、国際決済銀行に設立された中央銀行ガバナンスグループのメンバーに就任しました。メルシュ氏はルクセンブルク大公研究所の会員です。彼は国家レジオンドヌール勲章(フランス国立レジオンドヌール勲章)の役員でもあります。

2019年、イヴ・メルシュはマジャル・ネムゼティ銀行(ハンガリー)からラムファルシー賞を受賞しました。